

「初めの愛にとどまる」

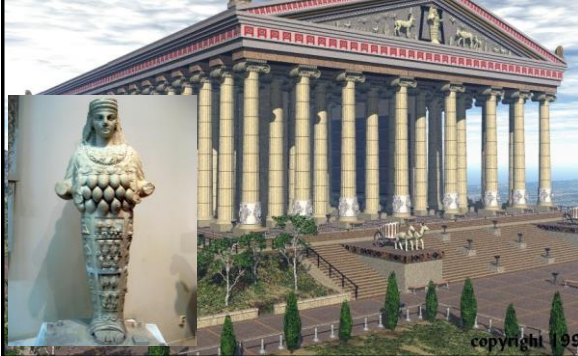
ヨハネの黙示録2章1～7節

エペソにある教会の御使いに書き送れ。『右手に七つの星を握る方、七つの金の燭台の間を歩く方が、こう言われる—。わたしは、あなたの行い、あなたの労苦と忍耐を知っている。また、あなたが悪者たちに我慢がならず、使徒と自称しているが実はそうでない者たちを試して、彼らを偽り者だと見抜いたことも知っている。あなたはよく忍耐して、わたしの名のために耐え忍び、疲れ果てなかった。けれども、あなたには責めるべきことがある。あなたは初めの愛から離れてしまった。だから、どこから落ちたのか思い起こし、悔い改めて初めの行いをしなさい。そうせず、悔い改めないなら、わたしはあなたのところに行って、あなたの燭台をその場所から取り除く。しかし、あなたにはこのことがある。あなたはニコライ派の人々の行いを憎んでいる。わたしもそれを憎んでいる。耳のある者は、御霊が諸教会に告げることを聞きなさい。勝利を得る者には、わたしはいのちの木から食べることを許す。それは神のパラダイスにある。』

1

2

The Temple of Artemis at Ephesus



3



4

初めの愛から離れる

- わたしの民は二つの悪を行った。いのちの水の泉であるわたしを捨て、多くの水溜めを自分たちのために掘ったのだ。水を溜めることのできない、壊れた水溜めを。 イミヤ2:13
- 終わりの日には困難な時代が来ることを、承知していない。そのときに人々は、自分だけを愛し、金銭を愛し、大言壮語し、高ぶり、神を冒瀆し、両親に従わず、恩知らずで、汚れた者になります。また、情け知らずで、人と和解せず、中傷し、自制できず、粗野で、善を好まない者になり、人を裏切り、向こう見ずで、思い上がり、神よりも快樂を愛する者になり、見かけは敬虔であっても、敬虔の力を否定する者になります。 2テモテ3:1-5

5

初めの愛から離れる

- あなたは世も世にあるものも、愛してはいけません。もしだれかが世を愛しているなら、その人のうちに御父の愛はありません。すべて世にあるもの、すなわち、肉の欲、目の欲、暮らし向きの自慢は、御父から出るものではなく、世から出るものだからです。世と、世の欲は過ぎ去ります。しかし、神のみこころを行う者は永遠に生き続けます。 1ヨハネ2:15-17、ロー12:1
- そこで、女が見ると、その木は食べるのに良きそう、目に慕わしく、またその木は賢くしてくれそう、好ましかった。それで、女はその実を取って食べ、ともにいた夫にも与えたので、夫も食べた。 創世記3:6

6

原点に戻る

- それでは、どのように言うべきでしょうか。恵みが増し加わるために、私たちは罪にとどまるべきでしょうか。 ローマ6:1
- 決してそんなことはありません。罪に対して死んだ私たちが、どうしてもなお罪のうちに生きていられるでしょうか。それとも、あなたがたは知らないのですか。キリスト・イエスにつくバプテスマを受けた私たちはみなその死にあずかるバプテスマを受けたではありませんか。私たちは、キリストの死にあずかるバプテスマによって、キリストとともに葬られたのです。それは、ちょうどキリストが御父の栄光によって死者の中からよみがえられたように、私たちも、新しいいのちに歩むためです。私たちがキリストの死と同じようになって、キリストと一つになっているなら、キリストの復活とも同じようになるからです。 ローマ6:2-5

7

愛は感情ではない

- 愛は寛容であり、愛は親切です。また人をねたみません。愛は自慢せず、高慢になりません。礼儀に反することをせず、自分の利益を求めず、苛立たず、人がした悪を心に留めず不正を喜ばずに、真理を喜びます。すべてを耐え、すべてを信じ、すべてを望み、すべてを忍びます。愛は決して絶えることはありません。 1コリント13:4-8 (感情を支配する善意)
- 人生の答えは神の愛。人生の意味、目的
- 神の愛に答えて、愛に生きるのが人生。
- 愛の神から愛することを学びながら生きる。

8

愛に答えて愛に生きる

- 私たちは「世の光」マタイ5:14、「光の子ども」エペソ5:8-9 燭台の使命 ヨハネ13:35
- 光の中で、悔い改めながら生きる。 1ヨハネ1:7
- どこから落ちたか「思い起こす」?
- 主の晩餐「わたしを覚えて」 ヘブル12:2
- 毎週? 毎日、毎時、毎分、毎秒、いつも!
- 使徒ヨハネの同じメッセージの繰り返し、「愛し合いなさい」
- 「世の終わりまで、いつもいっしょ」 マタイ28:20
- 「捨て猫の話」 捨て猫以下? ヨハネ1:12

9

愛に答えて愛に生きる

- 「耳のあるものは聞きなさい」
- 聞いてどうする? (信仰の従順)
- 勝利を得る者=征服する者 神といっしょに
- 神から生まれた者はみな、世に勝つからです 私たちの信仰、これこそ、世に打ち勝った勝利です。世に勝つ者とはだれでしょう。イエスを神の御子と信じる者ではありませんか。 1ヨハネ5:4-5
- 「いのちの木」「神のパラダイス」神との関係

10

初めの愛にとどまる

どうか御父が、その栄光の豊かさにしたがって内なる人に働く御霊により、力をもって私たちを強めてくださいますように。

信仰によって、私たちの心のうちにキリストを住まわせてくださいますように。

そして、愛に根ざし、愛に基礎を置いている私たちが、すべての聖徒たちとともに、その広さ、長さ、高さ、深さがどれほどであるかを理解する力を持つようになり、人知をはるかに超えたキリストの愛を知ることができるようになります。

11

初めの愛にとどまる

そのようにして、神の満ちあふれる豊かさにまで、私たちが満たされますように。

どうか、私たちのうちに働く御力によって、私たちが願うところ、思うところのすべてをはるかに超えて行うことのできる方に、

教会において、またキリスト・イエスにあって、栄光が、世々限りなく、とこしえまでもありますように。アーメン。 エペソ3:14-21

12